

2025年度 学校関係者評価委員会

アジェンダ

1. 学校関係者評価委員（企業等委員）

齊藤 真吾	（明治国際医療大学 鍼灸学部 鍼灸学科 教授）	出席
臼木 万里	（おかげ堂うすき鍼灸整骨院）	出席
並川 一利	（なみかわ はり・きゅう院）	出席

2. 事務局

北小路 博司	（平成医療学園専門学校 校長）	出席
竹本 晋史	（平成医療学園専門学校 教務部長）	出席
土岐 明寛	（平成医療学園専門学校 柔道整復師科学科長）	出席
上野 暁生	（平成医療学園専門学校 鍼灸師科学科長）	出席
内野 容子	（平成医療学園専門学校 東洋療法教員養成学科学科長）	出席
栗本 久美	（平成医療学園専門学校 日本語学科学科長・応用日本語学科学科長）	出席
藤本 正治	（平成医療学園専門学校 事務長）	出席
成田 沙織	（平成医療学園専門学校 総務課主任（書記））	出席

2. 開催日時および場所

- （１）開催日時：2025年6月7日（土） 15：00～16：00
- （２）開催場所：平成医療学園専門学校 第1校舎3階

3. 議事次第

- （１）校長挨拶
- （２）学校自己点検・評価報告書と委員評価の確認
- （３）まとめ（委員評価を基に今後、具体的に実施する活動や検証が必要な取組の整理等）
- （４）次回日程について

以上

【専修学校における学校評価の目的】

（「専修学校における学校評価ガイドライン」より抜粋）

- ① 各学校が、実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校において、生徒・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等（専修学校と接続する学校）、保護者・地域住民、所轄庁など学校関係者等により構成された学校関係者評価委員会等が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色ある専修学校づくりを進めること。

※ 国、都道府県等が、学校評価の結果や取組状況を踏まえて、専修学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の実践的な職業教育等の質を保証し、その向上を図ることが期待される。

令和6年度 学校関係者評価報告書

令和6年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評をいただきました。その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。

[4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切]

◆基準 1 教育理念・目的・育成人材像

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4
1-2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4	4	4
1-3	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学内外に周知されているか	4	4	3	3.6

評 価 学 校 委 員 関 係 会 員 意 見	
--	--

◆基準 2 学校運営

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
2-1	教育理念や目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	3	3.6
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	3	3.6
2-3	運営組織や意思決定システムは、整備されているか、有効に機能しているか	4	4	3	3.6
2-4	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	4	4

評 価 学 校 委 員 関 係 会 員 意 見	
--	--

◆基準 3 教育活動

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
3-1	学科等のカリキュラムは教育理念・目的・育成人材像に沿って、体系的に編成されているか	4	4	4	4
3-2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	3	3.6
3-3	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	4	4
3-4	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	4	4
3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	3
3-6	目標資格の取得に関する指導体制は整っているか	4	4	4	4
3-7	教育目標を達成するために必要となる教員を確保しているか	3	3	4	3.3
3-8	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	3	3.6
3-9	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	3	3.3

評価 学校 委員 関係 意見	①GPAに移行しにくい理由はあるか 【学内委員による回答】GPAへの移行については、専門学校の大学化が謳われている流れの中で、予てより議論が重ねられてきたものであるが、本校における英文の成績証明書発行の実績は過去数件に留まる。本校において、GPAへの移行が本当に必要なのかどうかを改めて検討する必要がある。
	②授業評価の実施、体制についての評価は、学生、教員間の相互評価があったものとして評価した 【学内委員による回答】学生と講師の中間の立場として、専任教員が実際に非常勤講師の授業を見学し、改善点があれば伝えている。これは本校の教員同士でも行っている。

◆基準 4 学修成果

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
4-1	就職率の向上が図られているか	4	4	4	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4	4	4

評価 学 校 委 員 関 係 者 意 見	①JLPTの受験が目標ではなく、あくまで合格が目標であると思うので、世界の認定率（もしくは国内）と同等の認定率を目指すか、N4・N5の受験も検討すべき 【学内委員による回答】N5については本校の入学資格であるため全員取得済みである。大学等の進学の際、N3以下（N4、N5）は評価されないため、N3の取得を目指している。
---	---

◆基準 5 学生支援

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
5-1	就職および進学に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4
5-3	退学率の低減が図られているか	4	4	3	3.6
5-4	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4	4	4
5-5	学生の健康管理を担う体制はあるか	4	4	4	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	3	3.3
5-7	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	4	4
5-8	保護者と適切に連携しているか	4	4	4	4
5-9	卒業生への支援体制はあるか	4	4	3	3.6

評価 学 校 委 員 関 係 者 意 見	①各科の1年生の退学率はどうか 【学内委員による回答】令和6年度 柔道整復師科5.7%（令和5年度17.8%）、鍼灸師科13%（令和5年度3%）、東洋療法教員養成科10%、日本語学科1%（令和5年度2%） 柔道整復師科について、令和6年度は教員数を確保し、通常の担任二人体制によりサポート環境を整え、退学率は減少。鍼灸師科の令和6年度の退学者については、多くが社会人で家庭の都合による。 ②学生のこころの健康はどのようにサポートされているか 【学内委員による回答】まずは電話相談窓口を学生に紹介するなどし、カウンセリングを受けられる環境を整えなければいけない。今後専門のカウンセリングを行える人材について情報を集め、検討していく。
---	--

◆基準 6 教育環境

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	4	3.6
6-2	学外の実習、海外研修等について十分な教育体制を整備されているか	4	3	4	3.6
6-3	防災安全管理に関する体制は整備されているか	3	3	3	3

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	①避難訓練（特に留学生）の実施はされているか 【学内委員による回答】柔道整復師科と鍼灸師科は行っているが、東洋療法教員養成科及び文化教養課程の学生については実施時期を検討中である。日本語学科の10月期生の入学後に実施するという案が出ている。
--	--

◆基準 7 学生の募集と受入れ

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	3	3.6
7-2	入学選考は適正に行われているか	4	4	4	4

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	
--	--

◆基準 8 財務

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4	3	
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	3	
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	
--	--

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
9-1	法令や各種関係規程を順守し、適正な運営がなされているか	4	3	2	3
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	3
9-3	学校自己点検・評価および学校関係者評価を適正に実施し、教育の質保証向上につとめているか	4	3	3	3.3
9-4	学校自己点検・評価及び学校関係者評価結果を公表しているか	4	3	4	3.6

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	【学内委員による説明】 日本語学科については、出入国在留管理局から外国人留学生の在籍管理が特に適正であると認められ、「適正校（クラスⅠ）」に選定された。今後も適正な在籍管理に努める。 9-2について、個人情報の保護については問題は発生していないが、具体的な対策については十分でなかったと考える。そのため、令和7年度は年に2回ほど情報セキュリティ対策の勉強会を行う予定である。現在、1回目の勉強会を実施中。
--	---

◆基準 10 社会貢献

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	4	4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	4	4

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	
--	--